

ばんけい

教育ほつとにゅーず

かわら版

こ みち
教育の小径 No.146

2020 December

12月号



(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生

今月のことば

くに やぶ さん が あ
国破れて山河在り

戦いで国は破壊されたが、山や川は昔のままに自然の姿を残しているという意味です。この言葉は杜甫が詠んだ「春望」の冒頭にあります。

コロナに負けない子どもに

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、これまで当たり前のこととして行われてきた授業や学校行事などが見なおされ、新しいスタイルが工夫されています。
- コロナに負けない子どもを育てるためには、感染症に対する正しい知識を身につける必要があります。体育科(保健領域)、理科、道徳科などで指導します。

新しいスタイルの学校生活

わが国で、新型コロナウイルスの感染のニュースがテレビなどで初めて取り上げられたのは今年の1月でした。感染はこれまで全国各地に広がり、発生してからほぼ1年が経とうとしています。感染症の専門家によると、収束するまでに数年はかかるだろうと言われています。それもウイルスが完全に撲滅することはなく、私たちの周囲にいつまでも潜在化しているそうです。これからの生活において、私たちはコロナウイルスと戦うというより、共存・共生していくことが求められています。これが「ウィズコロナ」です。

学校はひとつの建物のなかで集団生活する場ですから、「3密(密閉、密集、密接)」のリスクの高い環境といえます。そのため、各学校では6月に授業が再開されて以来、学校がクラスターの場にならないよう、細心の対応を行ってきました。

予防こそ最大の対応策です。そのために各学校ではさまざまな予防を行ってきました。毎朝の体温のチェックなど健康観察が徹底されるようになり、マスク、うがい、手洗い、咳エチケットの励行が常態化するなど、学校生活が新しいスタイルに変わりました。教室

での授業では、発表の仕方や声の大きさなどに注意するよう指導されています。身近な友だちと肩を寄せ合って活動したり話し合ったりすることが少なくなったようです。

体育科では器械運動やボール運動など気掛かりな種目があります。音楽科では歌を歌ったり、楽器を演奏したりするときには特に配慮しています。また、休み時間や放課後の過ごし方にも変化がみられるようになりました。

運動会や遠足、修学旅行、集会活動などの学校行事の見なおしも行われてきました。本年度は中止に踏み切った学校もあります。しかし、行事そのもの問題があるわけではありません。活動内容や種目、場所、日程など実施の方法を見なおすことで、感染症のリスクを回避することができます。各学校の工夫のしどころです。

新型コロナウイルスによる感染を防止するために、これまで当たり前のこととして実施されてきたことを見なおし、学校生活が新しいスタイルに変わりつつあります。

感染症に対する正しい知識を

子どもたちが新型コロナウイルスと共存して生きていくには、子どもの発達段階に応じて感染症について正しい

今月の スケートの日
記念日 (12月25日)

1861年、イギリスの探検家トーマス・ライト・ブラキストンが、日本で初めてスケートをした日です。日本スケート場協会が昭和57年に制定しました。諸説あります。

知識を身につけることが大切です。

体育科の保健領域では、病気の予防に関連して病原体や体の抵抗力などを扱うようになっていきます。理科では、人の体のつくりに関連して呼吸の働きや臓器について取り上げます。これらを指導する際に感染症の防止対策について考えさせることができます。

社会科では、歴史学習で奈良時代に疫病が発生したことや江戸時代の安政5年ごろコレラが流行したこと、1918～20年に「スペイン風邪」が世界中で流行したことを話題にすることもできます。子どもたちは歴史的な視点から関心をもつようになります。

新型コロナの感染者や家族などに対して偏見や差別意識をもたないようにする人権教育や、医療従事者などに感謝の気持ちを養う道徳教育は引き続き重要な教育課題です。また、病気に対する免疫力を高めることの大切さや、そのためにはバランスのとれた栄養と十分な睡眠と適度の運動が必要になることも指導します。

文部科学省は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、指導資料「新型コロナウイルス感染症の予防」をホームページに公表しています。本資料を活用して、感染症について正しい知識を身につけさせ、望ましい行動がとれる子どもを育てたいものです。

教育活動を記録に残す

記録魔、メモ魔という言葉があります。あらゆることを書き留めている人のことを言います。備忘録を活用している人もいます。これらは忘れないように要点などを記録するためです。

日々の学級経営に関しても、さまざまな場面の教育活動の様相を記録に残すことが大切です。例えば、各教科の学習の進み具合、生徒指導上の課題、特に指導を要した子どものこと、保護者からの問い合わせ事項や保護者への連絡事項、学級や学校で発生した事件や事故などがあります。

記録したことはその後の教育活動や保護者との面談などの場で生かすことができます。また、同様な問題の発生を未然に防ぐために活用することができます。保護者とのあいだで言い分の違いが生じたときには、記録されたものがあると、水掛け論になることを防ぐことができます。

特に問題や課題に関する事案についてはできるだけ克明に記録するよう心がけます。記録の内容は、発生した事実を時系列で記録します。何が課題や問題点だったのか。それに対してどのように対処したのか。その結果どうなったのかを記録しておきます。これらのなかには管理職と共有しておきたいものもあります。

時間が経つと、やがて忘れられていきますから、できるだけ早い時期に記録します。ノートやパソコンなどに記録したものは保管と管理を徹底し、個人情報保護に十分留意します。

記録するためには、メモする力や記録する時間を生み出す力が求められます。記録する習慣と能力は教師として身につけたい重要な資質・能力です。

教育の動向

本年度の授業時数の扱い

新型コロナウイルスの感染拡大の問題で、学校は5月末まで長期にわたって休業になりました。学校の再開後、各学校や教育委員会では、学業の遅れを取り戻すための方策とともに、各教科等の年間授業時数をいかに確保するかが大きな課題になりました。

多くの学校では、学校行事の方法を見なおしたり中止したりしました。また、土曜日に授業を実施し、夏休みなど長期休業日を短縮して授業日を増やしました。そのため、本年度の教科の授業時数はおおむね確保できることが明らかになってきました。

文部科学省は、平成31年3月29日付で初等中等教育局長名の文章を發出しています。その内容は、平成30年度の公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査の結果を踏まえたものです。この通知には次のような留意事項が示されています。

「標準授業時数を踏まえて教育課程を編成したものの災害や流行性疾患による学級閉鎖等の不測の事態により当該授業時数を下回った場合、下回ったことのみをもって学校教育法施行規則に反するとされるのではなく、(後略)」

今回の感染症の拡大を防止するために行われた学校の長期休業は、予測できない「不測の事態」です。標準授業時数を仮に下回っても特段の問題にはならないものと考えられます。

北 俊夫の「実践と研究」の足あと

14

はじめての教科書執筆

社会科の教科書執筆に初めて携わったのは、まだ20歳代のころでした。先輩の先生が機会を与えてくれたのです。教科書は「ゆとりと充実」をキャッチフレーズにした昭和53年版学習指導要領に基づいて編集されました。担当したのは3年の歴史単元「市のうつりかわり」でした。3年は地域学習ですから、執筆に当たって事例地を取材する必要がありました。事例地は神奈川県小田原市。はじめての経験ですから、どこに行っても何をどう聞き取りしたらよいか。どのような資料を収集すればよいか。雲をつかむような状態で戸惑うことばかりでした。

取材したことをもとに原稿を執筆し編集会議で提案しました。原稿は、問題解決の過程が子どもの思考に合致して

いるか。教材や学習活動が社会について理解を深めるように構成されているかなど、情報処理能力の育成と中心概念の獲得という社会科授業の基本理念にもとづいて検討されました。

原稿は図版など資料も含めて執筆しました。提案した原稿が一度や二度で認められるはずはありません。修正が求められ、そのたびに事例地に行き取材のやりなおしです。ある時は、前回の指示どおりに書いた内容にクレームが付いたこともあります。パソコンなどありませんから、そのたびに最初のページからすべて手書きでの書き直しでした。完成するまでに10数回書き換えたように記憶しています。

初めて執筆した教科書は、昭和55年度から全国各地で使用されました。この貴重な経験はその後の社会科授業の教材研究に生かされました。

INFORMATION

教科別しあげ教材

ぶんげい



同じ問題にくり返しチャレンジ!

○年へGO! は教科ごと(国・算・理・社)に「GO!ノート」つき

1年間の学習を教科ごと、1冊でまとめて復習!

編集後記

昨今話題となっている「押印の見直し」について、政府ではデジタル時代に向けた書面主義、押印原則等に関する官民の規制・制度や慣行の見直しを進めています。学校現場でも先生と保護者の負担軽減になるように、各種書面のデジタル化は近々の課題となっています。(F記)



企画・編集：ぶんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2020年12月1日